

科目名	傾聴実践実習					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	実技・実習	開講期間	その他	配当年次	3,4	授業番号	9130

●授業のテーマ

傾聴士の役割と意義を学ぶ。

●到達目標

傾聴実習を通じて、傾聴の態度を体得する。

●学習内容(授業概要)

高齢者施設等における傾聴実習を通じて、傾聴、受容的態度、共感的理解などを実践的に学び、利用者本位の傾聴のあり方について検討する。

また、社会福祉現場における傾聴士の位置と他職種との協働・連携のあり方についても検討する。さらには、守秘義務についても学ぶ。

実習期間中に1回、担当教員が巡回指導を、実施する。

●学習内容(授業計画)

(1) 学内実習①

テーマを設定し、学生同志で、聴き役、話し手役を交互に体験する。

(2) 学内実習②

老人クラブの方を学内にお招きし、小グループに分かれて、テーマを設定し、学生が高齢者の話を聴く。

(3) 学外実習

高齢者施設等において、1日3~4時間で10日間の傾聴実習を実施する。

●準備学習・事後学習の内容

準備学習:傾聴実習指導の授業で学んだことを繰り返し復習する。

事後学習:実習期間中は、毎日、実習日誌を記述し、一日の課題とも翌日の目標を設定し、実習終了後には報告書を作成する。

●成績評価方法・基準

実習先の評価等により総合的に評価する。

●テキスト(必携)

特に指定しない。

●参考文献/その他

参考文献は適宜紹介する。

●履修上の注意

実習施設の実習指導者の指示に従うこと。

守秘義務に十分留意すること。

学生の皆さんの積極的な取り組みを望む。